



校長室だより

黒部市立荻生小学校

文責：校長 寺島紀子

令和4年11月2日

第29号

正式なおたより文書でもお知らせしましたが、今週から校内のトイレ工事が始まっています。当面は2階と3階のトイレが使用不可となり、全校児童と教職員が1階の3カ所のトイレのみを使います。校舎内外には、資材が運ばれたり、作業される方が行き来されたりします。時折大きい音が聞こえることも予想されます。業者の方々にはできる限り配慮していただいておりますが、学校側も子供の安全に十分気を付け、皆が落ち着いて学習に取り組めるよう心がけていきたいと思っています。保護者の皆様にもご理解・ご協力をお願いします。



この一連の工事は3月までだそうです。トイレが新しくなるのを楽しみに待つことにしましょう。

深まりゆく秋 楽しい学校生活を自分で作る子供に

★さわやかに、朝のあいさつボランティア

秋晴れの日には朝から気持ちがいいですね。校門付近では、児童会の呼びかけで児童のボランティアによるあいさつ運動が行われています。10月31日（月）は、1年生と3年生の希望者が、今日2日（水）の朝は2年生の希望者が、計画委員会の5・6年生と共にあいさつを行っていました。頑張った子は昼の放送で紹介されますが、そうでないとしても「またボランティアをしようかな」と思ってくれると嬉しいです。



★まずは毎日の授業に丁寧に取り組もう

運動会、音楽会と大きな行事を乗り越えた際には、これまでがんばってきた反動からか、目の前の大きな目標を失ったような様子が子供に見られる場合もあります。職員室では、こういうときこそ毎日の授業を大切にしようということをお話合っています。子供たちが興味をもって取り組めそうな授業の導入、楽しく学習できそうなちょっとした工夫、支援が必要な子供への配慮といったところにヒントがありそうです。そして一人一人の子供が「なかなかがんばっているな」と自分で自分をほめていけるように…。

昨日の放課後、職員室で「帰りの会に一日のふり返りの日記を書かせてみました。授業の感想とかがんばったこととかをいろいろ書いて、子供との会話もできてよかったです」と話す先生がいました。このように学校生活の振り返りをうまく行うことが大切だろうと思います。9月以来、チームワークよく頑張ってきた子供たち。新しい学校の楽しみを見つけて、ますます成長してくれることを期待しています。

保護者・地域とのつながりを感じた 愛校作業・公民館まつり

29日（土）の午前中はPTA「愛校作業」でした。今回は都合のつく保護者の方のみの参加でしたが、各担当の教職員といっしょに、来たる県東部研究集会に向けての環境美化をしっかりと行っていただきました。保護者の皆様の力を感じました。本当にありがとうございました。



一方、29日～30日（日）は荻生公民館まつりも行われました。全校の荻っ子の絵画や陶芸の作品を出品させていただきました。広い会場にずらりと並んだ作品は見応え十分でした。観ておられた方からは、「子供たちの色彩感覚が素晴らしいですね」とお褒めの言葉をいただきました。また、前田公民館長さん、松島自治振興会長さんからも感謝のお言葉をいただきました。地域の皆さんと小学校のつながりを感じました。



★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。

「校長杯短歌大会 下学年の部(1～3年生)」の結果

19日(水)に歌を作って応募し、20日(木)～25日(火)に審査・投票し合いました。4～6年生や教職員からも投票があり、計108人(計540点)の投票の結果、上位入賞者3名が決まりました。

天位(1位) 19点	ハンバーグにくじゅうじゅわじゅわいいにおい かぞく四人でレストランだよ	1年 N・H ※
地位(2位) 18点	ゆめの中やぎにおそわれ食べられたショックでおきた ゆめでよかった	2年 M・E ※
人位(3位) 17点	パンやさんやけたかおりがふわあんとおなかがすくなパンを食べたい	3年 F・T ※

このほか、10点以上の16人を入選、特別賞として4人を「校長賞」としました。1～3年生には作品集を渡しましたので、各ご家庭で目を通していただければと思います。「歌」なので、ぜひ声に出してみてください。よりいっそうの味わいが感じられますよ。それぞれの子供の心の世界を味わってください。

上学年の部(4～6年生)は、現在集計中です。来週の「校長室だより」でもお知らせできると思いますので、お楽しみに…。

※ホームページ版では、個人名をイニシャルで表記しています。

シリーズ「教室におじゃまします」10/28(金)4年学級活動の巻

この日、大休憩の時間から子供たちはウキウキでした。校長室に仮装したままやってきて「3時間目のハロウィンパーティーが楽しみ」という子供たちの声につられて、私もおじゃますることにしました。教室の黒板には楽しそうなプログラムの張り紙があります。研究集会を控え、忙しい時期だとは思いますが、「子供たちが全部企画・進行するというので時間をとりました」と担任の平野先生。懐が大きい！

お楽しみの最初は体育館でのおにごっことドッジボールでした。せっかくの衣装をすぐに脱ぎ捨て、本気モードで体育館を走り回る子供たち。ハロウィンらしく、タッチのときは「ゾンビ！」と叫んでいました。タイマーを上手く操作して、給水・休憩タイムも計画的に取り入れながらおにごっこを楽しみました。

その後は簡単なプレゼントとカードがもらえる時間もあり、子供たちは列をなして順番待ちをしていました。もちろんプレゼントとカードは手作りです。こうした企画の大半は女子チームが計画したようで、人数の少ない男子チームは、ちょっとり肩身が狭そうに女子に従いつつ…といった様子です。しかし、続くドッジボールでは、がぜん男子が大活躍！ 思い切りボールを投げ、楽しんでいました。

このあとハロウィンパーティーは教室に戻ってのフルーツバスケットや写真撮影と続いたそうです。4年生企画力と実行力、元気を十分に感じました。



おまけの<ひとこと> ハロウィンがこれほどまで日本の子供たちに定着したのはここ十年ほどでしょうか。考えてみれば、「Trick or treat!」のかけ声で上手くいけばお菓子がもらえる！そして仮装ができる！ 时期的にもクリスマスほど「家族のイベント感」が強くなく、子供たちにとっては学校で友達と思い切り楽しめるイベント、それがハロウィンなのでしょうね。4年教室におじゃましたのは28日(金)でしたが、31日(月)も5・6年教室でハロウィンパーティーがあったようですし、あおぞら級の子供たちも仮装して職員室にやってきました。本当の意味は分からなくても、とにかく「ハッピー・ハッピー・ハロウィン！」

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。